



2 団 だ よ り

発行責任者：団委員長 池澤 榮次郎

団本部：鶴林寺 宝生院内 (団 HP 「ボーイスカウト加古川第2団」 検索)

— スカウトの「おきて」 —

団委員長 池澤 榮次郎

「おきて」・・・なんか、忍者みたい・・・。

ボーイスカウトの「おきて」は、「ちかい」とともにスカウティング（スカウト活動）におけるもっとも大事なことです。「おきて」は8つの言葉があり

- 1 スカウトは誠実である。(自分にも他の人にも嘘をつかない正直なこと。)
- 2 スカウトは友情にあつい。(お互いを信頼し合い強い友達になること。)
- 3 スカウトは礼儀正しい。(相手への心遣いと敬意を表す作法ができること。)
- 4 スカウトは親切である。(思いやりを持って人につくすこと。)
- 5 スカウトは快活である。(明るく元気なこと。)
- 6 スカウトは質素である。(むだがなく、つましいこと。)
- 7 スカウトは勇敢である。(危険や困難を恐れないこと。)
- 8 スカウトは感謝の心をもつ。(人や自然、出来事に「ありがとう」と言えること。)



となっています。

「ちかい」は自らが誓いそれを守るもの、おきては日々の生活の中で実践するものです。

ボーイスカウト活動は心の教育であって、子供の頃の自然の中での体験は好奇心や冒険心を育て、豊かな人づくりにつながり、良き社会をつくることとなります。

— 各隊 11月の活動・トピックス —

○ ビーバースカウト隊

「2016 ボランティアメッセに参加」

11月6日、加古川市民団体連絡協議会などが主催する、ボランティアメッセに参加しました。

今年もビーバー隊は、体験コーナーに参加してドングリや松ぼっくりを準備、来られる人に小さなクリスマスツリーを作って頂きました。

子供たちのアイデアで、楽しい作品が多く生まれました。



また、来られた幼稚園児や小学生にボーイスカウトへの入会チラシを配布したり、活動の紹介もしました。

ボーイスカウト隊もゆるキャラのぬいぐるみを被り商店街での大行進に参加しました。

○ カブスカウト (CS) 隊 「カブラリー」

CS 隊は、11月6日に BS 兵庫県連盟が主催した第23回カブラリーに参加しました。

今年はカブスカウト活動が誕生して100年目にあたり、日本で最初にカブスカウト活動が始まったことを記念する「ウルフカブの像」のある須磨浦公園をおもな会場として開催されました。

カブラリーは、県下各地から多くのスカウトや指導者が集まり、「ジャングルブック」をテーマにポイントラリーを行いました。

2団のスカウト達も、自分たちで作ったお面を被りゲームに参加。また、手作りの名刺を持って他団のスカウト達と「名刺交換」などをして、交流を深めました。



○ ボーイスカウト (BS) 隊 「40キロハイク」

BS 隊は11月13日、加古川市が主催するツーデーマーチの40キロコースにスカウト8名、指導者2名が参加しました。

参加スカウトは、「One for all, All for one」(一人はみんなのために、みんなは目標を達成するために)を確認し合って出発、全員そろって無事にゴールしました。

また、ツーデーマーチのコースにあたる団本部の鶴林寺では、今年も2団の指導者、団委員などが主催者から依頼された甘酒を作り、多くの参加者に飲んで頂きました。



○ ベンチャースカウト (VS) 隊 「六甲山系ハイキング」



ベンチャースカウト6名は11月13日、須磨から兵庫間の六甲山系ハイキングを行いました。スカウト6名が参加し、秋晴れの縦走路を気持ちよく進み、途中の高取山上で持参したミニコンロで湯を沸かし、カップ麺を頂きましたが、露天で食べる食事は簡素でも味わって食べる事が出来ました。目標の読図や体力面では課題が浮き彫りとなりましたが、大人数のスカウトで賑やかに活動ができたことはとてもよかったです。

これらスカウト活動の詳細は、当団のホームページ (HP) 「ボーイスカウト加古川第2団」(検索) でご覧いただけます。

また、ボーイスカウト活動に関心のある方・入隊を希望される方は、団 HP のメールでアクセス頂くか **団本部 鶴林寺宝生院 電話 079-422-6064** へお問い合わせ下さい。